

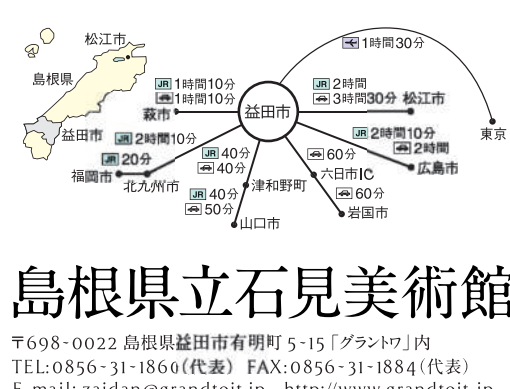
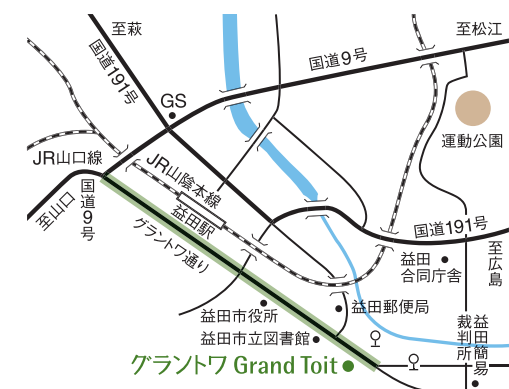


大下藤次郎と水く絵の系譜

企画展
150年
誕生

企画展
150年
誕生

歩き、描き、残した。歩き、描き、残した。



交通案内
石見交通「グラントワ前」下車(徒歩1分)
JR 益田駅から1km(徒歩15分)
萩・石見空港から
約6km(連絡バスでJR 益田駅まで約15分)
浜田自動車道 浜田ICから約40km(自動車約50分)
JR 新山口駅から益田駅まで特急約90分
◎駐車場あります(約240台・無料)
※ただし土日祝なイベント開催時は
駐車場の混雑が予想されます。

次回企画展
ファッション イン ジャパン
1945-2020 一流行と社会
2021年3月20日(土)～5月16日(日)

島根県立石見美術館
〒698-0022 島根県益田市有明町5-15「グラントワ」内
TEL:0856-31-1860(代表) FAX:0856-31-1884(代表)
E-mail: zaidan@grandtoit.jp http://www.grandtoit.jp

2020
12/25(金)
2021
2/20(土)
前期:12月25日(金)～1月25日(月)
後期:1月27日(水)～2月20日(土)

【開館時間】9:30～18:00(展示室への入場は17:30まで) 【休館日】毎週火曜日、12月28日～1月1日
【観覧料】当日券／一般:1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
大学生:600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
小中高生:300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円
前売券／企画・コレクション展セット900円

【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、読売新聞社、美術館連絡協議会、日本海テレビ
【協賛】ライオン、大日本印刷、損保ジャパン 【特別協力】郡山市立美術館、千葉県立美術館、東京藝術大学大学美術館、東京国立近代美術館、府中市美術館、丸山晩霞記念館 【後援】芸術文化とふれあう協議会

島根県立石見美術館
島根県芸術文化センター「グラントワ」内



「水絵」とは水彩画のことです。顔料とアラビアゴムを主成分とし、水を溶剤とする水彩画の絵具は安価で扱いやすく、絵を描く上で、私たちの最も身近な画材となってきました。

この展覧会では、日本における水彩画の地位を確立し、明治期を代表する水彩画家として活躍した大下藤次郎（1870-1911）の生涯と画業を、生誕150年にあたる2020年、改めて振り返ります。水彩画の普及に人生を捧げた大下が、その著書や講習会などを通じて伝えようとした水彩画表現の魅力に迫るとともに、大下が自らの道を歩む過程で出会った人々、水彩画を愛した仲間達の作品も紹介します。明治期を代表する水彩画の名品の数々をお楽しみください。

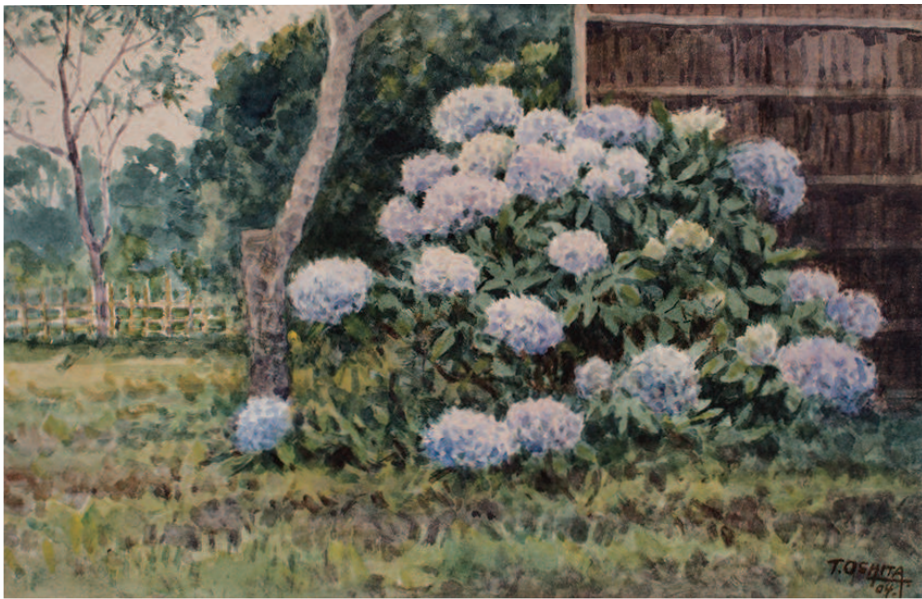
絵画アト絵画
是吾が終局の目的
吾が生命

大下藤次郎「明治二十八年之記」より



大下藤次郎
撮影者：京都市寺町御池北 旭館
京都にて 1896年5月9日 鶏卵紙 当館蔵

大下藤次郎



《紫陽花》1904年 水彩、紙 千葉県立美術館蔵（後期展示）



《病児》1904年 水彩、紙
千葉県立美術館（後期展示）

三宅克己

《ニューヘヴンの雪》1898年 水彩、紙
東京藝術大学蔵（前期展示）



《高原の秋草》1895～98年 水彩、紙 丸山晚霞記念館蔵倉沢コレクション

丸山晚霞

吉田ふじを



《少女と網を持つ少年》1902年頃 水彩、紙 府中市美術館蔵（前期展示）

小杉未醒（放菴）



《神橋》1901年頃 水彩、紙 小杉放菴記念日光美術館蔵（後期展示）

アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ



《日光の小堂》1892年 水彩、紙 小杉放菴記念日光美術館蔵（後期展示）

希少な油彩画初公開。 知られざる父の肖像画

大下藤次郎は、専門の水彩画家として活躍しましたが、最初は主に油絵を描いていました。二人の師、中丸精十郎と原田直次郎は、油彩の肖像画を主に描いていた洋画家です。しかし現在残っている大下の作品の多くは水彩画で、油彩画の作例はほとんど確認されていません。今回新たに、遺族のもとに伝わってきた、大下が父を描いたと思われる油彩画が修復を終え、初公開でお目見えします。



伝大下藤次郎（伝大下巳之吉肖像） 制作年不詳 油彩・カンヴァス 当館蔵

大下藤次郎の著作に「三脚物語」があります。愛用の三脚が「僕」の代名詞で、主人である大下と周囲の人々についてあれこれ語る自伝的随筆です。本展はこの「三脚物語」に倣い各章の解説は、三脚が語るという設定で書かれています。生誕150年にあたる今年、もしも三脚が本当に言葉を話したのなら、おそらくこのように熱く語りかけてくれたことでしょう。当時に想いを馳せながら、展覧会をお楽しみください。



大下が愛用した三脚

人語を話す
三脚（写生用の椅子）が
展覧会を
ナビゲート

関連イベント

記念講演会
「山を描いた水彩画家たち
—大下藤次郎を中心に—」

大下藤次郎ほか、同時代の水彩画家たちの心を捉えた山の風景について、作品の魅力を交えてお話いただきます。

1月16日（土）14:00～15:30

【会場】講義室（当日先着25名／聴講無料）

【講師】斎藤郁夫（山口県立美術館 学芸参与）

ワークショップ
「水彩画を描いてみよう」

大下の著書「水彩画之菜」に出てくる空や雲、草花の描き方…。描き方のちょっとしたコツを学びながら、水彩画を描いてみましょう。

2月11日（木・祝）14:00～16:00

【会場】講義室（定員10名／要申込／参加無料）

【対象】どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

【講師】上野小麻里（鳥根県立美術館 専門学芸員）、
左近充直美（当館担当学芸員）

【申込】電話、FAX、E-mailにて、名前、年齢、
連絡のとりやすい電話番号をお知らせください。
TEL: 0856-31-1860 FAX: 0856-31-1884
E-mail: zaidan@grandtoit.jp

当日は水彩画で描いてみたいと思う空や雲、海や波、草花など、自然の対象物が写った写真や画像、葉書などをご持参ください。道具類はこちらで準備します。

会期中、大下展の
オリジナルグッズを
プレゼント！
毎日先着
20名様



企画展についての最新情報は、
特設サイトをご覧ください。特設サイトはこちら▲

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関連プログラムは定員を通常の半分にしています。また、当日の参加・美術館への入館は、マスクの着用、入室前の検温、緊急連絡先の記入などをお願いしております。ご協力お願いいたします。○施設の開館状況、展覧会の会期、関連プログラムなどが変更・中止になる可能性があります。ご来館の前には、グラントワホームページにて最新の情報をご確認ください。